令和6年6月備前市教育委員会定例会会議録

1　開催日時　　令和6年6月28日（金）
　　開会　午前 10 時 00 分　　閉会　午前 10 時 45 分

2　開催場所　　備前市役所　6階　委員会室

3　会議区分　　定例会

4　出席委員

議席番号	職　　名	氏　　名	出欠
1	委　　員	出　井　鉄　二	出
2	委　　員	田　中　道　生	出
3	委　　員	金　谷　美　圭	出
4	委　　員	原　田　千　暁	欠

5　出席者

職　　名	氏　　名	出欠
教育長	今　脇　誠　司	出
総合教育部長	畑　下　昌　代	出
教育総務課長	春　森　弘　晃	出
国際教育課長	守　屋　孝　治	出
小中一貫教育課長	谷　口　健　一	欠
幼児教育課長	文　田　栄　美	出
放課後子ども教育課長	出　射　詩　都	欠
生涯学習課長	川　淵　裕　之	出

6　付議事件　　議案等付議事項のとおり

7　会議状況　　議事録のとおり　　傍聴人　あり　　非公開　なし

8　署名委員　　2番　田 中 道 生

9　書　　記　　教育総務課総務計画係長　川﨑　誠

議　案　等　付　議　事　項

区　　分	案　　件　　名
議案第 18 号	備前市社会教育委員の委嘱について
報告第 22 号	備前市認可外保育施設等利用児童助成金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
報告第 23 号	小中一貫校・義務教育学校について
報告第 24 号	人口減少について

教育長　委員の皆様には令和6年6月教育委員会会議定例会にご出席いただきまして、ありがとうございます。それでは定例会を開会といたします。ただ今の委員の出席は3名であります。定足数に達しておりますので、令和6年6月備前市教育委員会会議定例会を開会といたします。
また、教育委員の議席について、就任順として、1番出井委員、2番田中委員、3番金谷委員、4番原田委員ということで、異論はございませんでしょうか？

次に、政務報告をいたします。

それでは、議事に先立ちまして、５月定例教育委員会会議以降の教育行政の概要について報告をいたします。

５月２２日、岡山県教育長を、市長とともに訪問させていただき、今後の連携についてのお願いをしてまいりました。

５月２４日、岡山教育事務所を訪問いたしました。

５月２５日、伊里小学校、片上小学校、伊部小学校、日生東小学校、日生西小学校で運動会が開催され、出席いたしました。

また、６月１日、吉永中学校、備前中学校、伊里中学校、三石小学校・三石中学校、日生中学校で体育会が開催され、出席いたしました。

いずれの日も晴天に恵まれ、児童・生徒の皆さんは、エネルギッシュな躍動に満ちた日となり、思い出と共に充実感が得られたものと思います。

５月２６日、天皇皇后両陛下がご臨席された全国植樹祭へ参加いたしました。びぜん緑の少年隊達も参加し、両陛下のお手植え・お手巻きの介添えや、県内の高校生達による式典の司会進行、演劇、演奏、合唱、ダンス等々、若者など、多くの方々によって一体感が醸成された行事となりました。

５月２７日、県庁で開催されました第１回県立高校の在り方を考える会に参加いたしました。地域とともに子どもたちの視点を大事にして行きたいと感じました。

５月２８日、岡山県教育委員会の教育次長ほか幹部が、来庁され、本委員会の運営について、意見交換を行いました。

５月２９日、東備租税教育推進協議会定期総会があり、出席をいたしました。昨年度の決算、今年度の事業計画などの審議が行われ、教育現場における租税教育の在り方が議論されました。

６月２日、令和６年度教育遺産世界遺産登録推進協議会が、オンラインで開催され、昨年度の決算、今年度の事業計画などの審議が行われ、同協議会の規約の一部改正とともに、登録に向けた運営について、議論されました。

６月４日、連携協定を締結した花王による手洗い教室が吉永認定こども園であり、出席いたしました。

６月１７日、元香登小学校校長で、故横川直季（よこかわなおき）さんの叙勲に伴う表彰を瀬戸内市のご自宅でお渡しました。

６月１９日、備前緑陽高等学校第１回運営協議会に出席いたしました。

６月２０日、旧三石幼稚園　森本展子（もりもとのぶこ）園長叙勲に伴う表彰を教育長室でお渡しました。また同日、片上高校の公開授業に参加いたしました。

６月２６日、岡山県青少年教育センター閑谷学校第１回運営委員会に参加いたしました。

６月２７日、和気閑谷高等学校第１回運営協議会に出席いたしました。

また、この間にも、個々に、各小中学校や関係施設を訪れ、学校長等との協議、施設の状況の確認等を行ってまいりました。

以上で、概要報告を終わります。

それでは、早速、議事に入ります。

まず、1番　前回定例会会議録の承認ですが、令和6年5月定例会の会議録について、委員の皆さん、何かお気付きの点はございませんか。

教育委員　（異議等なし）

教育長　ないようですので、令和6年5月定例会の会議録について、承認することといたします。

次に2番　署名委員の決定ですが、今回は2番の田中委員、よろしくお願いします。

引き続き、3番　議案等付議事項について審議を行います。

それでは、議案第18号　令和6年度備前市社会教育委員の委嘱について　事務局から説明願います。

生涯学習課長　それでは、議案第18号　令和6年度備前市社会教育委員の委嘱について　説明させていただきます。

こちらは、令和6年の教職員の人事異動に伴いまして、校長会代表である東鶴山小学校の富田純子校長へ交代がございましたので、備前市市社会教育委員設置条例第2条の規定に基づきまし

て、後任の校長を委嘱するものでございます。任期につきましては、前任者の在任期間の令和6年4月1日から 令和7年5月31日までとなります。

以上でございます。

教育長　議案第18号についての説明を終わります。何か質問などございませんでしょうか。
それでは他に意見もないようですので、議案第18号を承認してよろしいでしょうか。
それでは、議案第18号については承認することといたします。以上で議案第18号の審議を終わります。

次に、報告第22号　備前市認可外保育施設等利用児童助成金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について　事務局から説明願います。

幼児教育課長　はい。 それでは、報告第22号、備前市認可外保育施設等利用児童助成金交付要項の一部を改正する要項の制定についてご説明いたします。

これは、市内在住の認可外保育施設等に入所する児童の保護者に対しまして助成金を交付することを定めた要望なのですが、第2条中の以下法という、を削りまして、第5条中の4月から9月までの入所に係るものについては9月30日までに、 10月から3月までの入所に係るものについては3月31日を教育委員会が指定する記述に定めるものです。改めるものです。

これまで、保護者がこの助成金を申請する際に、期日は9月30日、3月31日ですと月末の利用の申請が期日に間に合わない状況が発生するので、便宜上こちらが指定した期日までの申請を受け付けておりましたが、両方をそうした現状に合わせて改正するものです。以上です。

教育長　ざっくりいうと、こうっていうのは、要するに今までの回答。

幼児教育課長　例えば3月31日に認可外の保育所を利用して3月31日の締め切りまでに申請をするとなると、保護者の方はどうですか、間に合わないことになります。なので、事務便宜上、次の月の、4月中の受付であればこちらの方で受付するということで 便宜上していたんですけれども、やはりここは要綱を現状に合わせて改正させていただく方がいいということで、こうした改正を行いたいと思っております。

教育長　以上の報告、説明につきまして、何かご意見、ご質問などございますでしょうか。

教育委員　（質問等なし）

教育長　次に、報告第２３号　小中一貫校・義務教育学校について　事務局から説明願います。

幼小中高一体校準備室次長　お配りしましたのが、この4月、直近でできました小中一貫校と義務教育学校の パンフレットの方になります。総社市の五つ星学園と美咲町の柵原学園のものになります。柵原学園につきましては、この4月ですが、旧柵原中学校、 旧柵原西小学校、旧柵原東小学校 が統合されて、新しく柳原学園という形で新築の建物で移転した形です。

小中学校の9年間を4・3・2年制とする小中一貫の義務教育学校となります。そのため、中学3年生は9年生という呼び方になったりします。4・3・2年制ですので、1年生から4年生が基礎、基本の習得期、中期として5年生から7年生、中学校1年生までが学びの活用充実期、後期として8、9年生として、進路実現期という形になっております。

また、もう1個の総社市の分は、 五つ星学園として、新しくできた学校になりますが、義務教育学校と幼稚園のセットになったものになります。こちら、既存の建物を活用して、建物は分離した形での義務教育学校となっております。

昭和中学校5園校として、昭和中学校に現在の小学校6年生から中1、中2、中3という形で入った形になります。いわゆる先ほどの4・3・2年制とは違い、5・4年制というものになります。小学校ブロックは5年、中学校ブロックが4年という形のイメージになります。

昭和小学校と維新小学校との2つが合併して、こちらの方に1年生から5年生までに該当する子が義務教育学校の1年生から5年生となります。昭和中学校の方は6年生から9年生になります。さらに幼稚園も2つが統合されて、新しいキャンパスとなってます。幼稚園児は3歳から5歳児までになって、 全体として5つ星学園という名前になったものになります。

資料としては今お手元にお配りしたものになりますので、私の方からは以上になります。

教育長　委員の皆さん、何か質問ございますか。はい、どうぞ。

教育委員　備前市としての今後、取り組む方法はいかがなのでしょう。

このような、具体的に、中学校、小学校、統合して1年から5年、9年制ですよね。そんな計画はあるんですか。

幼小中高一体校準備室次長　はい、以前、皆様ご存知の通り、三石と吉永の中学校の方の統合が、できなくなりまして、今現状、備前市としては、学校の統廃合について、今、現市長としては、 市長の今の現在の任期中は統廃合をしないという形になっております。

ですが、現実的には、市長の方も、最終的な方向性としては、 小中一貫校であったり義務教育学校になっていかなければ人口の減少に対応できないのではないかというご意見もありまして、当然検討していかなければなりませんので、そちらの方の人口の減少の話につきましては、この次の報告事項でさせていただくんですが、現状としては、最終的に、玉野市さんが今日、小中、 新しい学校の体制の見直しをという形で出てるんですが、教育委員会としては、地域的なやはり学校を残してほしい意識はあるのは当然であると思いながらも、 実際の子供たちが、たくさんの生徒一緒になって、学べる場所を作るというのが教育委員会としては目指すべき話だと理解しておりますので、議論はしていく必要があると思っております。

我々としては、できる部分を準備していきたいとは思っておりますのが現状でございます。以上になります。

教育長　はい。この後の人口の資料のページ、児童生徒の数なんですけども、提示して、これからちょっと今日もそのタイムリーにというか、玉野市の統廃合の話もありましたけど、この児童生徒の数が減っていく中で、いずれにしても、この先10年、20年先を見据えて考えていかなきゃいけないところにあります。今、小中一貫、それぞれ学園という形で公表しておりますけども、それはいわゆる 一部のソフト面を行った形になっておりまして、最終的にはこの総社のように施設はそのままで、そういう形で現場のそれぞれの施設を残したままでやっていく形、それから、こちらに、もう1つの美咲町の柳原学園のように 1箇所に巨額を通じてキャンパスを

作ってですね、そこに、お金はかなりかかるわけですか、こういうところまでしていくかというようなところでございます。
今日を入口にして、こういう今動きがあるんだという意味を知っていただくという意味で、ちょっと議題として用意しておりますというところでございます。
備前市の場合はですね、いろんな地域によって小学校、中学校の形が色々ございます。でそういう中でも特に児童の数がかなり差があって、こういうものを参考にしながら、今日の玉野市の再編もありますけど、こういうのを参考にしながら、考えていく必要、この教育委員会では、ここをスタートとして、また考えていくところに来てるのかなと思います。
ところで、また教育委員会の皆さん、現場の方にということもあってもいいのかなと思います。
　資料見ていただきますと、疑問なところとか、こうした方がいいんじゃないというところはまた今日の今日でありませんので、確認しておいていただけたら今後の議論が進みやすいのかなっていう風に思います。
　それでは次に、報告第24号、人口減少、人口と書いてますけど、人口減少について事務局から説明を。
幼小中高一体校準備室次長　はい。それでは、報告第24号の人口減少の話になりますが、
本日は人口推移表とグラフを提出させていただいております。この人口推移表につきましては、実際の人口ではなくて、 過去の児童生徒数の積み上げでやっておりますので、実際の地域人口とは異なると思っていただけたらと思います。
　中学校になれば私立の中学校に行かれて減ったりしますし、支援学校に行かれたりする方もおられたりしますので、そういったことも踏まえて、学校の人口が、生徒数、児童生徒が、過去からの推移を見て、こういう状況になるのではないかという形になりますので、ご理解いただけたらと思います。
　そのため、人口推移につきましては、実際は社会状況や、これ今後の施策によって変化し得るものになります。また、算定方法につきましても、その減少率の計算のやり方につきましても 色々な手法がありまして、あくまでもその中の1つを利用した形になっておりますので、本日提出させていただきましたが、目安であり、 将来を確約したものではないことをご理解いただけたらと思っております。
　特にですね、今後、この資料とかを基に、先ほどお話がありました小中一貫であったり義務教育であったり、学校の大規模改修の計画をたて、そろそろ順番で改修していかなければならない年になっておりますので、そういったものを今後の教育委員会議の方で順次議論していただきたいと思って、叩き台としてまず今回こういった推移表の方をお示ししたものになりますので、今回はこの後も持って帰っていただいて、こういったものの状況を踏まえた形を、いろんな自分の地域の学校を見たりして、まず考えていただいた上で、今後、来月以降の教育委員会議で活躍、活用できればいいなと思っております。

ポイントとしましては、人口推移の表の方を見ると、令和5年段階では 例えば実際100人以上を目安にすると、7小学校、3中学校が 100名以上、昨年まではいた状況になっておりますが、10年後、令和5年ではもう2小学校、1中学校という形で10校あったものが3校になってしまうという形で100人を切る学校がたくさん増えてくるというのが今見込みで考えられております。こういったものが、先ほどお話ししました通り、地域的な学校の状況を、やはり皆さんの思い出とか、そういったものもありますが、現在学校に行ってる児童・生徒の状況を考えた時に、先ほどお話がありましたような、小中一貫校や義務教育学校に関する議論は避けて通れないと考えております。

こちらの方からとしては、資料についての説明は以上になります。

教育長　はい。委員の皆さんから何かご質問ございます。委員。

教育委員　すいません。私、他のところでもこれに似た資料を見たことがあって、この先考えると大変なことになるなと。それと、もう1つの要件としても、皆さんご存じの通り、中学から市内っていうか、もう岡山に限らず、兵庫県も含めて、いわゆる進学校に、進学する方が結構増えていますね。

学校のデータだけに基づいて再建を考えるというのも、非常に設計がもうちょっと難しいなというの、ひしひしとこう数字を見ると感じます から。市の教育委員会として、もちろん市長との、市長も含めてですけれども、だから、どう組み立てていくかということを多分早く決めないと、流出がどんどん、どんどん進んでしまうということも当然あると思う。

そんなにこう、流れだけを見てわけにもいかないだろうなっていう感じがします。私に意見を求めて、 こうしたらどうですかっていうと、なかなか、言い切れませんが、1つの案として、地域の実情というか、生まれ育った相手には、それぞれ、三石には三石の、吉永には吉永のがあるわけですけれども、大きな統合を考える 地域の学校を何らかの形で残すとしても、大きな統合を考えざるを得ないのかなという風に個人的には思ってます。ですから、もう極端に言うと、全市の今、この学校を３つの小中一貫校くらいにしてもいいんじゃないかなと思ってます。

そのあたりを私も考えてますので、総合的に、しっかし早く、結論というか、方向性を出していく必要があるのかなと。もちろん、こういう問題になってくるとね、異論がいっぱい出てきて 大変なことになると思いますが、私として、教育委員会としては、まずその方向性は早く定めて、どんどん異論を受け付けながら傾めていく必要があるかなという感じがしております。すいません。以上です、

教育長　委員

委員　もうこの数字見ると怖いですよね。もうどうしていいかわからんような状態なんですけど、やっぱり委員が言われたように、大きなとこもつくるのも手だと思います。合併ですか、あとちょっと、つまずいたんですけど、丁寧なもの、説明をしていただき、メリット、デメリットはやっぱりはっきり打ち出していただいて協議に持っていってはどうかと思います。やっ

ぱこの状態はちょっと学校の運営、経営がもうできないでしょう、多分。案を言えたら言うんですけど、その辺でよろしくお願いいたします。

教育長　委員

教育委員　少なくなってるなとは感じつつ、統合する、本当に。メリットもあるかもしれないんですけど、少なかったら、少ないなりのメリットもあるかなっていうのを日々感じている今の感じなんですけど、子供の状態、そのお金とか いっぱいの中で育つ方がいいっていう考え方と、やや色々な個性を持ったり、特性を持ったりしてる子供たちが本当に増えてきているので、少ない中でしっかり目が配れるような教育っていうのも私は必要なのかなとか思ったりする面もあるので、色々な面でしっかり考えていていきたいかなと思います。

教育長　ありがとうございます。本当にいろんな意見がでて、ちょうどいいなと今思いました。この玉野市の、本当、今日の新聞に出てる、ここを見る限り、例えば中学校は1学年の3学級で進めてるわけです。 でい、一方で、今金谷議員いわれたように、複式を議論するところはもちろんあるんです。ちょっとそこは考えなきゃいけない。その手前の辺りが意外に1番いいのかなっていう、あったりします。本当に目が届くし、みんなが活躍できるような学級になって多くなるとすぐうもれてしまいますので、この目安の作り方が非常に難しいものがあって、で、備前市の場合も、その谷間になったところに 町があって、統合するとなると、もちろんそのアクセスはバス、市バスだったり、スクーバスだったりなってきたりするかなと思います。

その辺りも含めると、本当に、じゃあどこに持っていくかっていうのが非常に、どこに持っていくかっていうのは非常に1番問題になるところがある。ということで、先ほど2つの学校をお示ししたところでございます。

　で、昨今の動きで、この今の2つ以外に、岡山市だと三南学園、こちらも同じように そこへ増築をして要するに来ているということしてありますし、どのやり方がいいのかっていうのは、やっぱいろんなところを見ていて、聞いて、進めていく必要あるのかなと思います。で、先ほど言われたように、 早くしないというのがあって、本当に早くしないとという思いがあって今日この資料を出したというところがあります。それは、他の例を見ながら、今日から考え始めるところに来ても、前1度頓挫した時があって、それからちょっと言い出しにくいところがあったかなと思うんですけど、最近のこの動きですね、どんどん備前市では、名前の上では小中一貫という学園になってます。実は一部のソフト面だけが 実際のこういうそのような動きでは、義務教育学校というところに、この制度上の、そこまで到達してない、全然してないわけですから、評価はそのあたりを考えてました。

で、この人口と書いていますが、児童生徒の推測ということで、先ほど事務局からも話がありましたけど、 この令和10年以降のことというのは、本当にそのまま横に引っ張っていったら、この先こうなりますよっていう表現だけなんで、これが必ずしももこうにはならないと思います。もしかしたらもっとスピードが早いのかなという風に見た方が見方としては正しいのかなというところもあります。で、合わせると、例えば、 備前中学校区で言うと、東鶴のところで

伊里小学校は除きますが、足していって、令和25年185人だから、これぐらいがある意味、 適正規模にすごい近いと、ここの辺りです。
だから、それぞれ見ていって、この数、どの辺りがいいのか見ながら、市のそのどの位置に持っていったらいいのかいうのを見ながら行かないといけないとこがあって、先ほど委員が言われたように3つぐらいあっていうのがございましたけど、 本当にこの辺りの数になってくるともう2つ、中学校で言ったら2つ、そこが学園となれば、小中一貫の義務教育学校もあれば、市内に2つみたいな感じ、 この辺りになってくるというところがありますので、これからしっかり議論をして、資料も集めたり、視察に行ったりしてもいいかなと思います。
この人数で、本当に、25年のところ、小学校の数360見ると、本当に2つの中学校でいいのかなっていう感じに向かってる感じがします。これ以上もっと減る可能性もあってです。本当にそういうところに、 20年後、今ここで見てるわけですけど、20年後、30年、40年後、これ10年後で見てやると、ダメダメなんですよね。あそこで1個作ってるのが、10年経ったらまた編成し直すかって。すごい エネルギー的にもあるし、無駄な投資になることが増えますので、だからどうしても20年後よりは最低のライン、 20年、それから30年、50年、どこまでを見るかっていう話なんですけど、まず1年後じゃなくて20年は見とかないというような感じの感想としてまいります。これからしっかりとですね、今後の、ちょっとしっかり議論を高めていくとこかなと思います。
　本当の玉野市が今までしてなかった 採用新聞の記事の中にありますけど、これまではちょっと進んでなかったというところで、 多摩市の人口規模で、1982年に1万1,575人これがピークで、今年で3,345人まで児童生徒数が減少している。 その一方で、小学校の1校、1分校を廃部したのみで、その間、中学校数が全然変わってなくて、 多分全然触って中で手をつけたというところなんですけれども。このキモは、まず副式学級の解消と、それから中学校については1学年3学級を増やすというところで、 で、これを29年までに目指すっていうね、5年しかないんですよ。大変ですよ。で、さらに、議員さんの中ではもっと早められないのかという意見も出てくるようなこと記事に出ておりますので、課題に関していうところで、備前市教委も早くこれに目を向けて着手していきたいと考えております。
いうところで、 報告という形で、議案という形で資料提出してもらってます。
今後は活発な議論をできるかということで、資料の内容によってはですね、議案ということで、進行していきたい。
　はい、他に何かございますか、よろしいですか、それでは、引き続き、議事4番、次回の教育委員会議の決定ですが、事務局案を説明願います。
教育総務課長　7月の定例会につきましては、7月26日　金曜日　午前10時から、市役所6回委員会室で開催することを提案いたします。以上になります。
教育長　それでは、次回の定例会は7月26日金曜日ということでいかがでしょうか。

はい。それでは、次回教育委員会会議定例会は、7月26日金曜日午前10時から市役所かこちらの委員会室で開催をいたします。

次に、6番、7月の行事予定及び行済公演の予定についてを、事務局から。

教育総務課総務計画係長　それでは、7月の行事予定及び共催・後援予定について、事務局の方から説明いたします。

お配りしている青少年教育カレンダーの方にも色々掲載がございますので、また見ていただきたいと思うんですが、主な予定としては、7月の19日が市内の子供へ小中学校の終業式となっておりますので、この日から夏休みに入ります。で、あとは、この7月の期間で個別懇談を各小学校、中学校で行われることが多くなっております。

それからあと講演、共催のことについてなんですが、主なものとしては、7月の14日に備前市リレーカーニバルという備前市陸上協議会が開催するイベントがございます。その他については、岡山県小学校管楽器教育連盟が主催する第52回サマーフェスティバル、それから7月の27日、オーガニックビゼンが開催する親子食品実験教室、それから東備子どもnpoセンターが開催する染色アートワークショップというものが主な公演予定のイベントとなっております。

以上でございます。

幼児教育課長　すいません、7月10日に三石地区の方で田植えの行事を行う予定になっております。ちょっと この間、申請が出て許可を出したところなので資料の方が手元にないんですけれども、 三石の認定こども園の方で、田植えのSDGｓと、それから地産地消などを目的とした行事が行われるところに後援を予定しております。

教育長　その他、何かございませんでしょうか。はい、どうぞ。

生涯学習課長　はい。生涯学習課より1点ご報告させていただきます。本日、お手元に配布させていただきました備前市中学生だっぴの実施のご報告とご協力のお願いでございます。

今年度も市内の中学2年生を対象に授業を実施してまいります。

今年度につきましては、8月27日に伊里、三石中学校、8月30日に日生、吉永中学校、11月20日に備前中学校でそれぞれ実施をいたします。委員の皆様にも、ぜひともご参加いただければ幸いかと考えておりますので、何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。以上でございます。

教育長　はい、他にございませんか。以上で6月教育委員会会議定例会を閉会といたします。お疲れ様でした。

備前市教育委員会会議規則第16条第2項の規定により、下記に署名する。

会議録署名委員　　教育長

委　員